

～選別作業の効率化と製品情報の可視化による輸出の促進～

金正水産株式会社（千葉県銚子市）

背景・課題

前浜魚を選別の上凍結し流通しているが、近年はサバやイワシが小型化及び混獲がふえていることで、選別作業を2回繰り返すなど作業時間の増加、製品に品質にも影響を与えていた。また、輸出する冷凍水産物は段ボールに入っているものの、他社の製品とともに利用され、原因のわからないクレームもあることから、製品をより差別化することが求められる。

取組のポイント

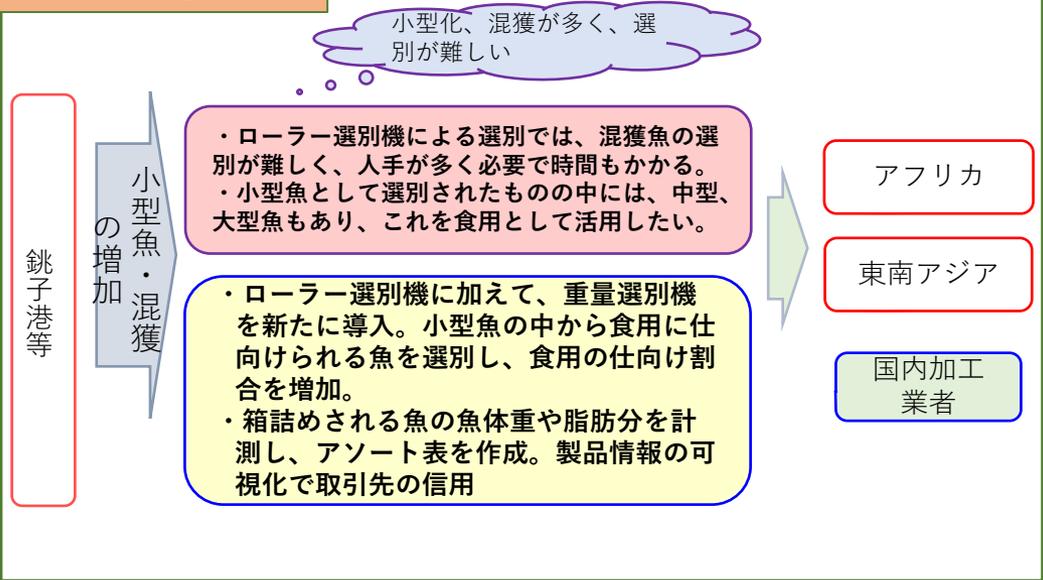
従来のローラー選別ラインに加え、重量選別機を新たに導入。これまで養殖餌料などの非食用として利用されていた小型魚を再選別することで、食用の利用割合を増やし、輸出量の販売促進を図った。

製造した冷凍水産物の魚体重や脂肪割合を計測しデータ化、これを一つのアソート表にする作業についてAIを活用。作成したアソート表を販売先に明示し、信用取引を実現。

取組の成果

- ・選別機の導入により、複数回選別機にかけなおすようなことがなくなり、作業時間の短縮を実現。
- ・餌料等の非食用に仕向ける割合が極端に減少。
- ・製品情報をアソート表として提示することで、販売先からの信用を得られるようになり、商談の回数も減少。確実な取引関係が構築された。

プロジェクトフロー



重量選別機



計量・分析システム

